

令和 6 年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	107	学 校 名	静岡県立御殿場特別支援学校	記 載 者	狩野見 知穂子
------	-----	-------	---------------	-------	---------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評 価	意見
ア	夢と希望を育む指導と支援が 12 年間つながるシステムづくり	・保護者はキャリアパスポートを見たり読んだりして児童生徒の頑張りの様子や好きなこと得意なことがよくわかると答える。	A	A	・目標と自己評価を繰り返し行うことで体験の達成感をもち、結果としてキャリア形成につながっている。 ・キャリアパスポートは子どもにとって自分の生活や学習を計画して振り返るための良い手段になっている。それが自分自身の自信につながっている。 ・キャリアパスポート、個別の支援計画、学校経営案(学校運営)がつながり、学校の取り組みが個の育ちを確実に支援している。 ・自分に合った目標を設定し、達成する事で成長感が実感できる取組だと思います。 ・順序良く小から高への成長をしっかりサポートしている。個人の能力に合わせているのが良い。 ・学部毎のシステムが良くできていると思う。各項目の考え方が良い。指導面で先生が把握しやすいと思う。生徒が充実して生活を送れると思う。
	自分らしく学ぶ知的障害の児童生徒の思考に沿った授業づくり	・児童生徒は学校が楽しい、授業が分かり、やる気が出ると答える又は、そのようなあられがみられる。			・参観の際まず教師のはつらつとした前向きな姿勢が見られ、子供たちとの暖かいやり取りが伝わってきた。 ・12 年という長期目線で個人の特性に合った育成計画を立て教育を実践しているのは素晴らしい。 ・それぞれに合った年間通しての指導は良い結果となる。 ・御特祭を拝見したときに良く表れている。 ・授業づくりは様々な工夫がみられて個々に合わせた学習がみ

					られる。
		・児童生徒は、検索ツールとしてだけでなく、実践の記録ツールや自分の考えの発信ツールとしてICTを使っている。	B	B	・伝え方の研究中であるのかと感じるが熱心に取り組まれている。AIによる「助け」の活用を行っていけば良いと思う。 ・ICTと特支教育との親和性関係を考えると、まずは、やれるところから始めるのが実態に合っていると思います。今の取組の方向で良いと思います。 ・ICTツールを使った発表会は今でも印象に残っていて子供たちが生き生きとタブレット等を使っていた。 ・活用の難しさを感じる。慌てることなく丁寧に教育が必要だと考える。
イ	社会の変化に対応し、人、もの、ことに対する想像力を育てる教育の実践	・児童生徒は防災訓練のたびに災害から自分の身を守る新しい知識や技術が向上している。	A	A	・訓練を通じて自分の身を守ることと互助の体験もできている。 ・防災教育、人権教育は大変充実している。 ・避難訓練時に多くの児童が階段を降りる際に手すりをもって降りていたのが良かった。 ・訓練を計画的に行ったのが、安全についての理解が増えたと思われる。 ・防災について外部(危機管理課)などと協力しての訓練等がみられる。 ・火災の訓練を見学して、生徒の防災意識が高いことを感じました。
		・児童生徒は、自己を大切に思う発信ができています。	A	A	・引き続き実施してほしい。 ・指導のやり方が良い。 ・個人から集団意識ができ、先生方からの伝え方に友達と仲良くすることができていると思います。
		・児童生徒は、性や食に関心を持ち、自分を大切にしている生活ができている。	A	A	・給食でお茶ウイークやふるさと給食など良い効果が出た。 ・給食を通じて食育を感じます。ふるさと給食や学年リクエスト、いろいろな国のメニューなど素晴らしいと思います。 ・保健での伝え方が分かりやすくマナーブックの活用など親が伝えにくいところについてツ

様式第5号

					ールを使って子供が意識できていると思う。
	柔軟でたくましい心と体を育む体育と情操教育の充実	・児童生徒は、体育・音楽・美術／図画工作の授業や学校行事で、自分や友達の良さを見つけたり、仲間と取り組む楽しさを味わったりして発信しあったり、共に影響しあったりしている。	A	A	・体育や美術の体験で自分の作るものや他人の作ったものを見て比較して自分を振り返ることができている。 ・運動会や御特祭では子供たちが目標をもって仲間とともに活動する姿が素晴らしかった。 ・自衛隊コンサートなど他の団体の協力を仰ぐことで人間性の促進にもつながると思いました。 ・御特祭の発表や展示は、素晴らしかったです。1つの作品をみんなで作るなど、作品を作る楽しさも伝わりました。
ウ	地域と目的を共有する開かれた学校づくり	・学校・地域・家庭は防災対策について、情報を共有している。	A	A	・防災機関との連携ができていた。 ・専門家の意見を取り入れている点は良いと思います。 ・地域との情報の共有は大切だと思う。 ・地域等の交流を大切にしてしっかりと共有がみられる。 ・防災に関してはきちんとできていることを見学や参加することによりよくわかりました。情報共有もコクーを通じてできている。
		・地域の幼保小中高等学校の児童生徒は、自己理解や就学及び進路選択に有益な情報を得ることができている。	A	A	・各市町の学校等の子供たちや先生方との情報共有や体験交流が活発に行われている ・学校が地域に進んでつながろうとする前向きさが伝わってきて心強く感じた。地域の学校の特支教育への指導、支援が本当にありがたい。 ・地域の中に溶け込もうとする開かれた学校づくりは大変ありがたい。 ・学校見学について見学日が設けられていてわかりやすいと思います。地域のいろいろな学校や機関と連携が取れていると思います。

様式第 5 号

エ	働きやすい職場環境で、やりがいを感じ、ワークエンゲージメントの向上を実現するチーム作り	・教職員は、自分の事務研修(空き)時間を活用し、帰宅時刻を自分で決めて、気持ちよく働くことができています。	A	A	・C 評価の意見もしっかりこの運営協議会の中で学校側から公表されている。こういう一部の意見も大事にしている様子が見える。 ・時差出勤などいろいろな改善を行っている点を素晴らしいと思います。 ・働きやすい職場環境を作る努力をしている。 ・勤務環境の改善は必要だと感じる。 ・教職員の方々の多忙な中、苦勞しながら創意工夫して進めている姿が見える。
		・教職員は、各自研修テーマを持ち、主体的に研修している。	A	A	・各自の研修テーマを各自で取り組み大変良い結果になっている。 ・研修に取り組まれていることで達成されていると思います。